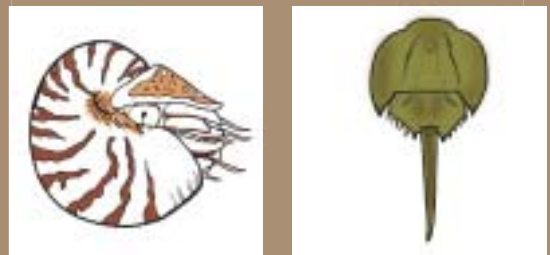


生きている化石 ^{かせき} メタセコイア

生きている化石 ^{かせき}

太古から姿を変えずに生きてきた生きものたち



オウムガイ (約6億年前)

カブトガニ (約5億年前)
天然記念物



シーラカンス (約4億年前)



ゴキブリ (約3億年前)

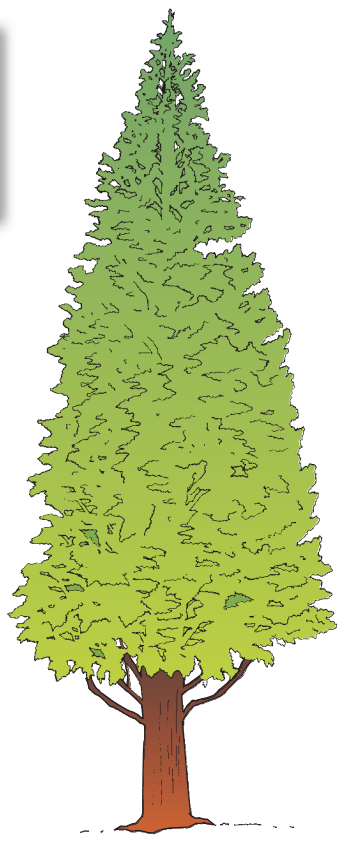
メタセコイア (和名: アケボノスギ)
高さ: 25~30メートル 花期: 2~3月
秋に赤茶色に紅葉した後に落葉し、秋から冬にかけてたくさんの実がなります。



メタセコイアの葉



メタセコイアの果実



メタセコイアと甲山 ^{かぶとやま}

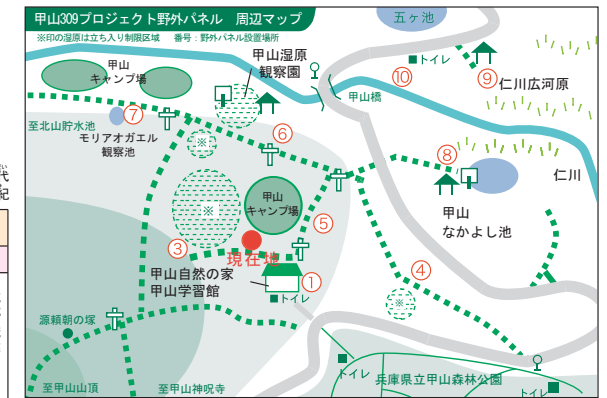
1941年に甲山周辺の粘土層で新種の植物化石 (珪化木) が発見されました。これが、絶滅したと思われていたメタセコイアで、その後、生きているものが中国で見つかりました。そして、その種子から栽培された苗が1953年頃に西宮で植えられ、日本に再現されることになりました。



メタセコイアの珪化木

地球46億年の歴史 ^{ちきゅう おく れきし}

冥王代	太古代	原世代	古世代	中生代	新生代 第三紀	新生代 第四紀
46億	38億	10億 6億	5億 4億 3億	2億 1億	8000万~6000万	1500万~1000万 300万 170万
地球誕生	原始生命の誕生	多細胞生物の誕生 オウムガイ	脊椎動物の登場 カブトガニ 魚類の出現 昆虫類の登場 シーラカンス ゴキブリ	六甲花崗岩が上昇し始める	甲山が噴火 甲山を雨や風が削る 甲山を雨や風が削る	人類誕生 メタセコイア メタセコイアは海の中にあり、その後上昇する。 甲山を雨や風が削る



寄贈: (株) 双葉化学商会

NPO法人子ども環境活動支援協会
この野分解説板のデザインは平成21年度ライフ&ネピア環境助成事業 (株式会社ライフコーポレーション・王子ネピア株式会社) により作成しました。